

21世紀の新しい 健康づくり運動

鳥取市の新しい健康づくり計画を策定します



健康日本21とは

「健康日本21」は、二十一世紀の新しい国民健康づくり運動です。これは、国民一人ひとりが病気になるないように、日頃から健康づくりを実践し、健康で明るく活力にみちた社会を、国民みんながめざそうとする運動です。

基本的な考え方

これからの少子・超高齢社会を健康で活力あるものにしていくためには、単に病気の早期発見や治療にとどまるのではなく、健康を増進し、病気を予防する「一次予防」を重視することや生活の質を高めることにより、「実り豊かで満足できる「生涯づくり」をめざすことが重要です。

基本理念

「すべての国民が健康で明るく元気に生活できる社会」

の実現を図るため、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間（健康寿命）を延ばせることなどを目標に、個人の力と社会の力を合わせて国民の健康づくりを総合的に推進します。

新しい健康づくり計画を策定

鳥取市でも「健康日本21」の地方計画を平成十三年度中に策定します。

計画の策定にあたっては、みなさんの意見を取り入れながら市民と行政が一体となった市民参加型の計画づくりをめざしています。

とっとり21

【すこやかプラン】

新しい健康づくり計画の一環として、とっとり21【すこやかプラン】を策定します。

これは、私たちの住む鳥取市で安心して子どもを産み、すこやかに育てることができるよう、二十一世紀の母子保健の取り組みの目標を設定するものです。